

スーパーマーケット販売統計調査資料

2016年5月実績 速報版(新パネル 270)

4月実績 確報版(新パネル 270)

(2016年6月21日公表)

調査資料概要

【パネル 270 社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

※2016年4月実績よりパネル対象企業変更(275社→270社)

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1m²あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタアベーカーリー、ファーストフード	
	日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム		
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2016年6月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2016年5月実績 速報版 (新パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	89,293,245	100.0%	101.9%	99.8%
食品合計	79,625,423	89.2%	102.4%	100.0%
生鮮3部門合計	30,430,751	34.1%	101.4%	98.9%
青果	12,578,823	14.1%	100.4%	98.0%
水産	7,896,543	8.8%	101.2%	98.7%
畜産	9,955,385	11.1%	102.8%	100.1%
惣菜	8,624,585	9.7%	103.0%	100.3%
日配	17,069,925	19.1%	103.4%	100.9%
一般食品	23,500,163	26.3%	102.9%	100.8%
非食品	7,125,008	8.0%	99.8%	99.1%
その他	2,542,867	2.8%	94.3%	94.5%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,474,549	43	100.3%	100.3%
関東地方	32,933,280	73	102.0%	99.9%
中部地方	11,136,488	53	103.2%	98.7%
近畿地方	19,111,631	44	100.6%	99.4%
中国・四国地方	9,041,188	34	103.2%	99.6%
九州・沖縄地方	4,596,109	23	104.4%	102.5%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	801,878	47	98.2%	97.4%
4~10店舗	3,981,543	70	99.9%	98.9%
11~25店舗	10,271,927	64	101.2%	99.9%
26~50店舗	16,899,909	46	100.7%	98.5%
51店舗以上	57,337,988	43	102.6%	100.3%

集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	86,583,987
総店舗数 (店舗)	7,695	店舗平均月商 (万円)	11,604
総売場面積 (㎡)	12,666,259	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.0

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2016年6月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2016年4月実績 確報版 (新パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	85,420,651	100.0%	103.4%	101.7%
食品合計	76,359,737	89.4%	103.8%	102.0%
生鮮3部門合計	28,987,559	33.9%	102.7%	100.8%
青果	11,924,361	14.0%	103.4%	101.6%
水産	7,603,710	8.9%	102.3%	100.2%
畜産	9,459,488	11.1%	102.3%	100.3%
惣菜	8,336,551	9.8%	104.4%	102.3%
日配	16,466,684	19.3%	104.7%	102.6%
一般食品	22,568,943	26.4%	104.5%	103.1%
非食品	6,576,920	7.7%	100.8%	100.5%
その他	2,484,037	2.9%	96.0%	96.5%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	11,842,587	43	104.4%	102.6%
関東地方	31,309,994	73	103.3%	101.4%
中部地方	10,528,083	53	103.8%	102.8%
近畿地方	18,758,963	44	102.1%	100.9%
中国・四国地方	8,504,599	34	104.2%	101.1%
九州・沖縄地方	4,476,424	23	105.2%	103.6%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	773,506	47	100.8%	100.0%
4~10店舗	3,764,304	69	101.2%	100.6%
11~25店舗	9,841,224	65	101.0%	100.3%
26~50店舗	16,166,932	46	103.3%	101.4%
51店舗以上	54,874,686	43	104.1%	102.2%

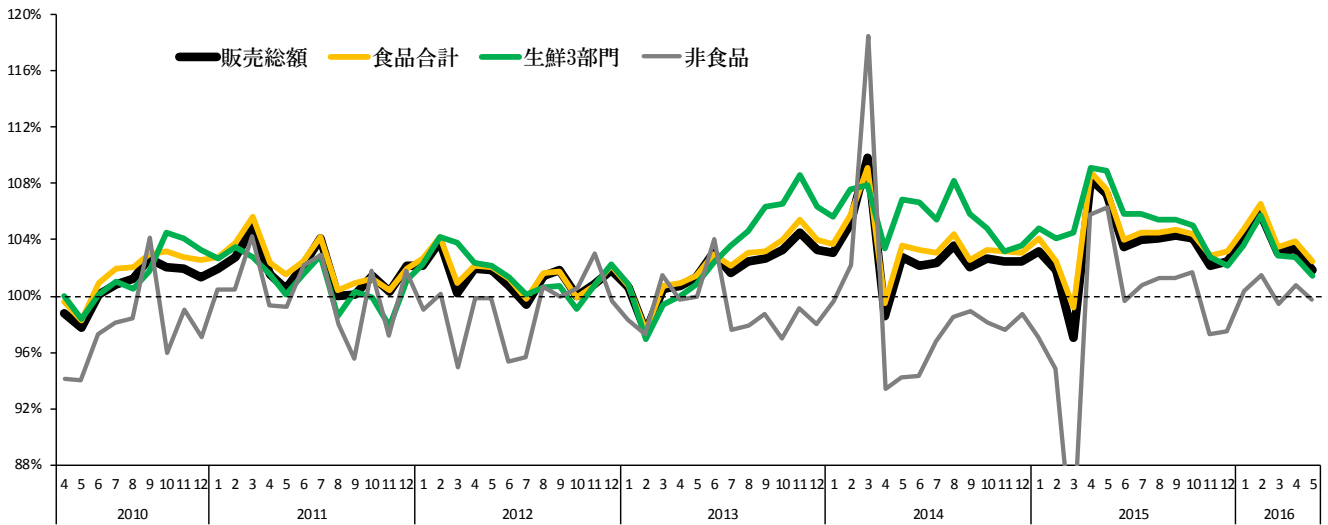
集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	82,898,440
総店舗数 (店舗)	7,694	店舗平均月商 (万円)	11,102
総売場面積 (㎡)	12,632,240	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.8

※売上高は税抜金額

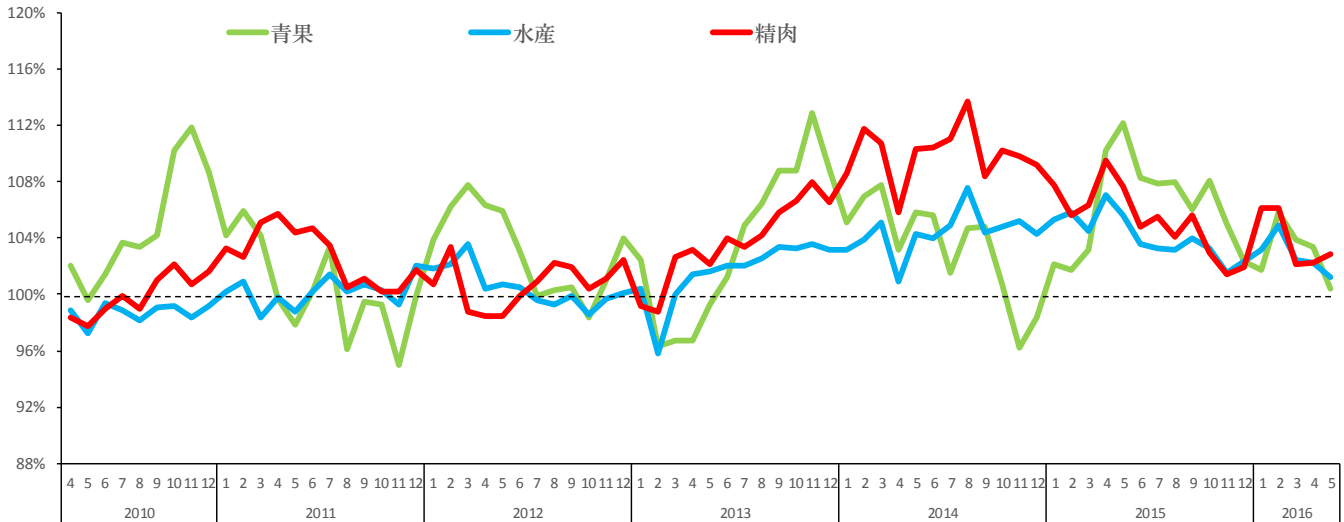
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2016年5月(全店ベース対前年同月比)

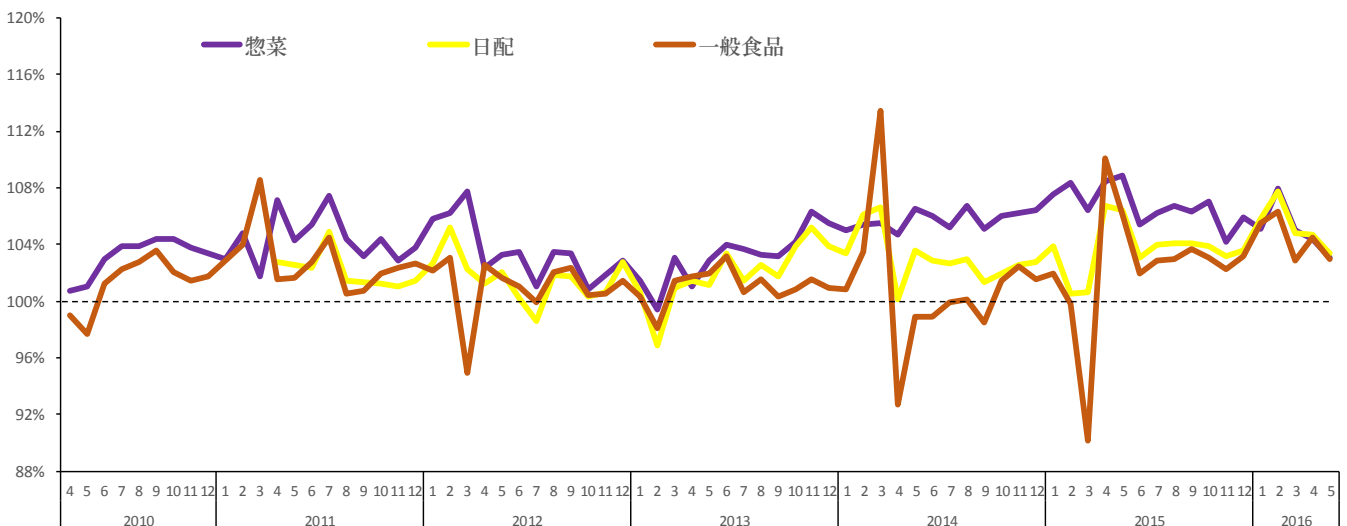
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



青果・水産・畜産



惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2016年4月までは確報版による前年同月比、2016年5月は速報版による前年同月比
 ※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」、「非食品」に「その他」を含む

2016年5月エリア別気候状況

1. 平均気温：全国的に高温で、北日本では記録的な高温

上旬：全国的に高く、東日本と沖縄・奄美ではかなり高かった

中旬：北・東日本ではかなり高く、西日本で高かった

下旬：全国的にかなり高かった

2015年5月との比較：全国的にほぼ前年並みの気温となった

	平年との比較 (°C)						今年と前年との差 (°C)		
	2016年5月			2015年5月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	1.6	2.6	3.4	2.6	0.3	2.2	-1.0	2.3	1.2
東北地方	1.4	1.5	3.2	2.3	2.0	3.0	-0.9	-0.5	0.2
関東甲信地方	2.0	1.5	2.1	1.9	2.7	2.4	0.1	-1.2	-0.3
北陸地方	2.1	1.2	2.3	1.8	2.2	2.3	0.3	-1.0	0.0
東海地方	1.1	1.2	2.0	1.6	1.8	2.0	-0.5	-0.6	0.0
近畿地方	1.0	1.3	2.2	1.5	1.6	2.1	-0.5	-0.3	0.1
中国地方	1.1	0.6	2.0	1.2	1.4	1.8	-0.1	-0.8	0.2
四国地方	1.0	1.0	1.7	0.9	1.3	1.4	0.1	-0.3	0.3
九州北部	1.1	0.7	2.0	0.7	1.0	1.1	0.4	-0.3	0.9
九州南部・奄美地方	1.0	0.4	1.9	0.0	1.2	0.2	1.0	-0.8	1.7

平年差

+2°C以上
+1°C以上

-2°C以上
-1°C以上

前年差

+2°C以上
+1°C以上

-2°C以上
-1°C以上

2. 日照時間：北日本から西日本日本海側にかけて日照時間が多かった

上旬：北・東・西日本日本海側で少なく、北・東・西日本太平洋側では平年並だった

中旬：北・東・西日本でかなり多く、沖縄・奄美では少なかった

下旬：北日本と沖縄・奄美では多かった。一方、西日本太平洋側では少なかった

2015年5月との比較：全国的に前年に比べ、上旬と下旬はやや少なく、中旬はやや多くなった。

	日照時間 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年5月			2015年5月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	103	139	135	132	92	146	-29	47	-11
東北地方	78	158	115	134	124	147	-56	34	-32
関東甲信地方	107	148	106	134	130	136	-27	18	-30
北陸地方	92	155	106	133	119	160	-41	36	-54
東海地方	104	142	97	129	119	126	-25	23	-29
近畿地方	96	161	97	125	117	134	-29	44	-37
中国地方	93	146	93	127	103	134	-34	43	-41
四国地方	95	148	93	127	109	121	-32	39	-28
九州北部	91	142	99	126	89	125	-35	53	-26
九州南部・奄美地方	95	122	79	103	85	105	-8	37	-26

平年差

平年比150%以上
平年比125%~149%

平年比50%以下
平年比51%~75%

前年差

+50%以上
+25~49%

-50%以下
-25~-49%

3. 降水量：西日本太平洋側では降水量が多く、北日本太平洋側と東日本では少なかった

上旬：西日本太平洋側でかなり多く、西日本日本海側では多かった。一方、東日本日本海側で少なかった

中旬：東日本日本海側と西日本太平洋側で少なく、沖縄・奄美では多かった

下旬：北・東日本太平洋側と沖縄・奄美では少なかった。北・東日本日本海側と西日本は平年並だった

2015年5月との比較：全国的に前年に比べ、上旬と下旬はやや多く、中旬はやや少なくなった。

	降水量 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年5月			2015年5月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	56	96	81	29	166	36	27	-70	45
東北地方	105	95	65	23	133	12	82	-38	53
関東甲信地方	94	81	61	9	100	33	85	-19	28
北陸地方	62	63	98	30	134	6	32	-71	92
東海地方	124	100	65	16	137	5	108	-37	60
近畿地方	101	99	67	15	154	3	86	-55	64
中国地方	105	67	57	22	118	8	83	-51	49
四国地方	135	61	139	39	131	13	96	-70	126
九州北部	215	71	105	63	144	22	152	-73	83
九州南部・奄美地方	264	64	98	83	199	51	181	-135	47

平年差

平年比150%以上
平年比125%~149%

平年比50%以下
平年比51%~75%

前年差

+50%以上
+25~49%

-50%以下
-25~-49%

気象庁ホームページ・報道発表資料「5月の気候」参照

平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均

スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2016年6月調査結果（5月実績）
（2016年6月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

6月調査（5月実績）結果概況

景気判断DI 現状判断は43.3に悪化、見通し判断は弱含みな傾向が続く

5月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から-3.5の43.3と大きく悪化、見通し判断は前月から-0.7の42.5と小幅に悪化した。

経営動向調査はすべてのDIが前月に比べマイナスとなった。売上高DIは-9.4（前月比-8.6）、収益DI-5.3（前月比-7.6）と共に大きく下落をみせている。来客数DIが-11.9まで落ち込みをみせたことに加え、仕入原価の低下により、販売価格DIが1.5まで低下していることが大きく影響している。

カテゴリ動向結果では、前月に比べすべてのDIが下落しとなり、DIもマイナスとなった。全般的に土曜日が一日少ない曜日めぐりや客数の減少が影響している。特にこれまで好調を牽引していた生鮮品の落ち込みが目立っており、相場安の青果DIが-13.1（前月比-16.1）と特に下落幅が大きく、畜産DI-6.4や水産DI-6.9もマイナスとなった。また前年が高温により好調であったカテゴリにも伸び悩みが目立っている。（カテゴリ動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、現状判断の落ち込みが大きく、見通し判断も総じて弱含みな結果となっている。長期トレンドでは現状判断、見通し判断共に引き続き下降傾向が継続している。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

これまで、来客数の低迷が続くなか、仕入原価や販売価格の下降傾向が続いていることへの不安を指摘してきた。価格上昇による売上増の好循環が試金石をむかえている局面であることに変化はなく、来客数の減少や客単価低下に歯止めがかかるかどうか今後の動向を注視したい。

景況感調査

現状判断

景気判断DI 当月：43.3 (-3.5) 前月：46.8	消費者購買意欲DI 当月：44.1 (-3.6) 前月：47.7	周辺地域 競合状況DI 当月：41.0 (-2.3) 前月：43.3	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：46.0 (-1.2) 前月：47.2
--	---	---	---

見通し判断

景気判断DI 当月：42.5 (-0.7) 前月：43.2	消費者購買意欲DI 当月：43.5 (-1.1) 前月：44.6	周辺地域 競合状況DI 当月：39.5 (-2.0) 前月：41.5	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：45.2 (-1.3) 前月：46.5
--	---	---	---

経営動向調査 経営状況

売上高DI 当月：-9.4 (-8.6) 前月：-0.8	客単価DI 当月：4.7 (-2.7) 前月：7.4	来客数DI 当月：-11.9 (-4.7) 前月：-7.2	
収益DI 当月：-5.3 (-7.6) 前月：2.3	販売価格DI 当月：1.5 (-3.7) 前月：5.2	生鮮品仕入原価DI 当月：4.4 (-3.1) 前月：7.5	食品仕入原価DI 当月：4.9 (-3.1) 前月：8.0

カテゴリ動向

青果DI 当月：-13.1 (-16.1) 前月：3.0	水産DI 当月：-6.9 (-3.9) 前月：-3.0	畜産DI 当月：-6.4 (-5.6) 前月：-0.8	
惣菜DI 当月：-1.3 (-6.0) 前月：4.7	日配DI 当月：-1.0 (-6.2) 前月：5.2	一般食品DI 当月：-3.7 (-7.5) 前月：3.8	非食品DI 当月：-5.3 (-0.9) 前月：-4.4

○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

6月調査（5月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

底堅い推移が続いていたが、当月大きく下落

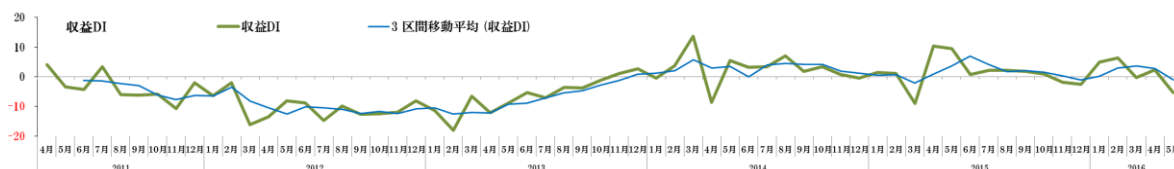
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	2.9	31.3	34.1	29.8	1.9	-0.8
売上高（当月）	6.0	45.9	29.0	18.0	1.1	-9.4



2. 収益DI

底堅い推移が続いていたが、当月大きく下落

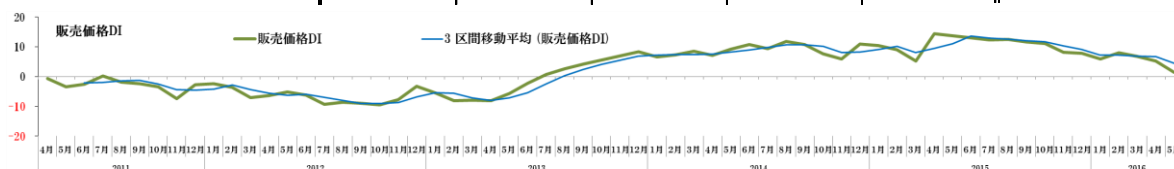
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	1.5	27.9	34.8	31.4	4.4	2.3
収益（当月）	7.3	33.0	35.8	21.8	2.2	-5.3



3. 販売価格DI

わずかなプラスを維持も、下降傾向が継続

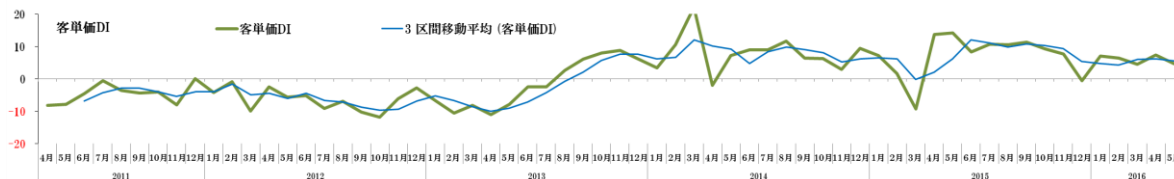
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.0	12.2	54.6	33.2	0.0	5.2
販売価格（当月）	0.6	14.4	63.5	21.5	0.0	1.5



4. 客単価DI

底堅い推移が続いていたが、当月は下落

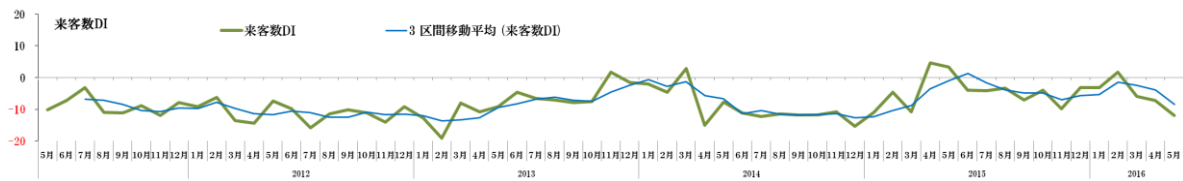
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.5	13.1	42.7	43.7	0.0	7.4
客単価（当月）	0.0	17.7	45.9	36.5	0.0	4.7



5. 来客数 DI

2桁マイナスに低下、引き続き弱含みな状況が続く

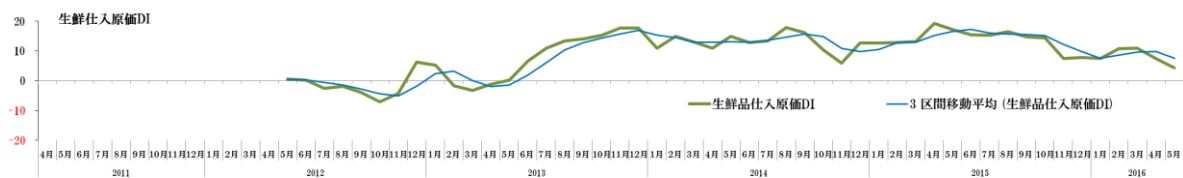
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	5.3	40.3	33.0	20.4	1.0	-7.2
来客数 (当月)	6.6	49.2	30.1	13.7	0.5	-11.9



6. 生鮮仕入原価 DI

当月低下し、下降傾向が継続

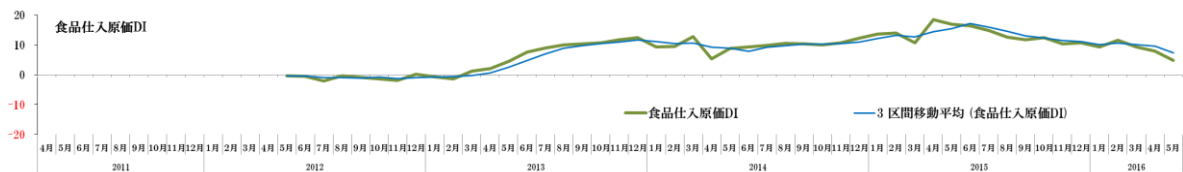
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.5	8.5	55.0	32.5	3.5	7.5
生鮮仕入原価 (当月)	1.7	13.0	53.7	29.4	2.3	4.4



7. 食品仕入原価 DI

当月低下し、下降傾向が継続

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.5	7.5	54.2	35.3	2.5	8.0
食品仕入原価 (当月)	1.1	8.5	61.0	28.2	1.1	4.9

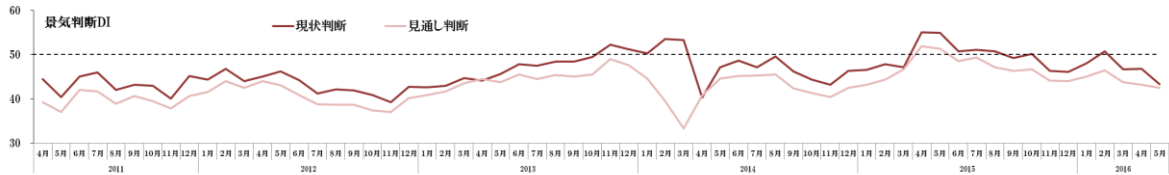


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景況判断のみ 2010年4月～)

1. 中核店舗景況判断 DI

現状判断は大きく悪化、見通し判断も小幅に悪化

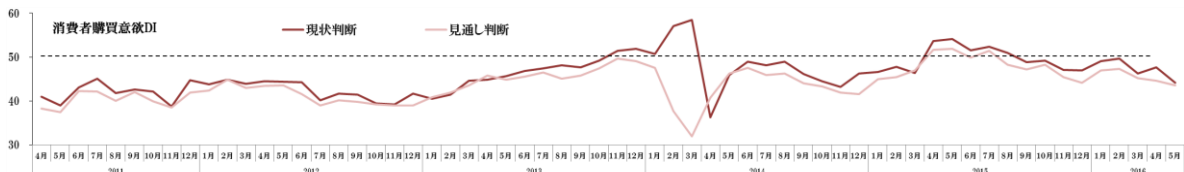
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	1.4	21.5	65.6	11.5	0.0	46.8
【現状】景況判断 (当月)	1.6	31.1	59.6	7.7	0.0	43.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	4.3	26.2	61.9	7.6	0.0	43.2
【見通し】景況判断 (当月)	3.3	30.6	59.0	7.1	0.0	42.5



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は大きく悪化、見通し判断も小幅に悪化

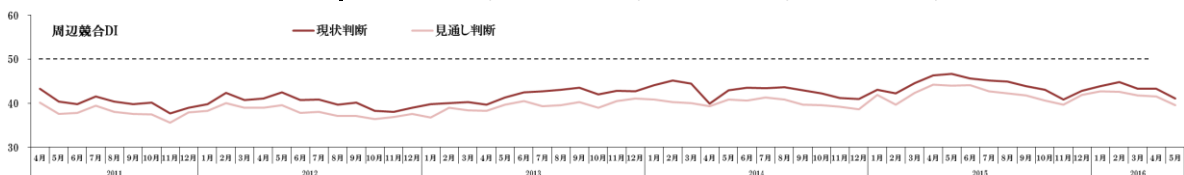
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	1.0	16.7	72.7	9.6	0.0	47.7
【現状】購買意欲 (当月)	0.0	27.9	67.8	4.4	0.0	44.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	2.4	22.4	69.5	5.7	0.0	44.6
【見通し】購買意欲 (当月)	0.5	28.8	66.8	3.8	0.0	43.5



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に小幅に悪化

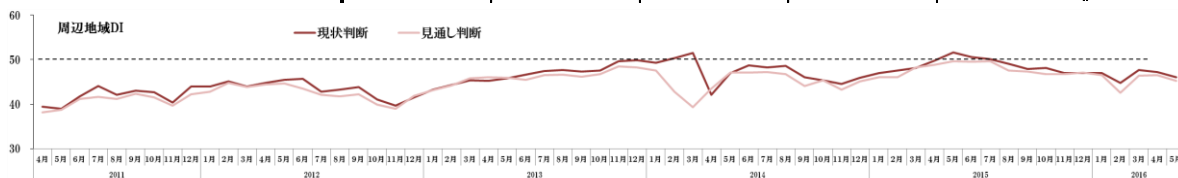
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	1.9	25.8	69.4	2.9	0.0	43.3
【現状】競合状況 (当月)	2.7	30.6	66.7	0.0	0.0	41.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	5.7	25.2	66.2	2.9	0.0	41.5
【見通し】競合状況 (当月)	4.9	32.1	63.0	0.0	0.0	39.5



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状、見通し判断共に小幅に悪化

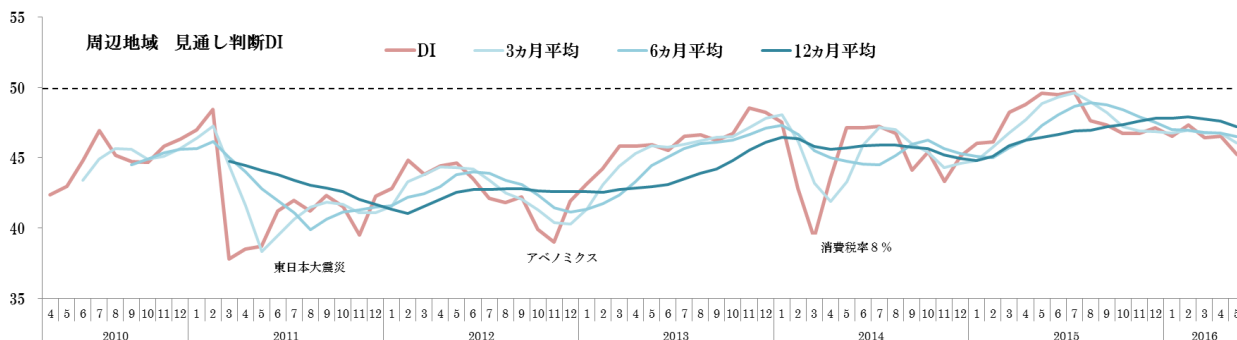
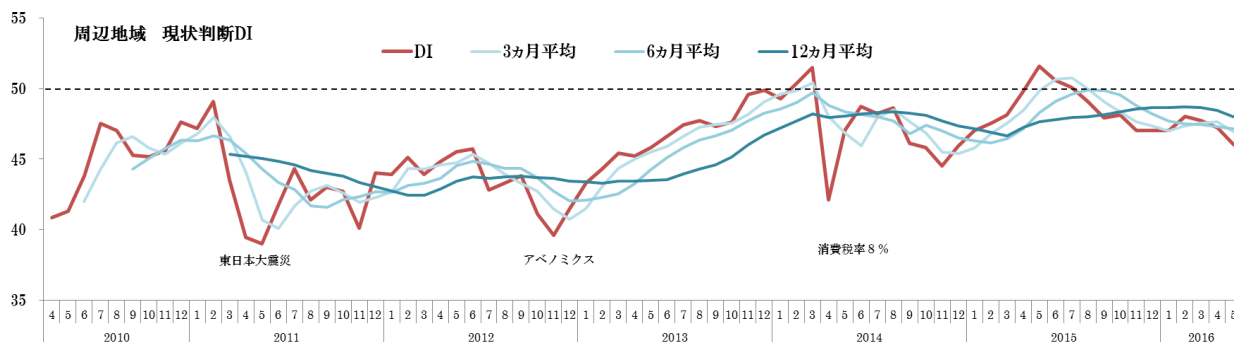
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	14.4	82.3	3.3	0.0	47.2
【現状】地域景気(当月)	0.0	18.8	78.5	2.8	0.0	46.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	1.9	13.4	81.3	3.3	0.0	46.5
【見通し】地域景気(当月)	0.6	20.4	76.8	2.2	0.0	45.2



長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。5月に一旦持ち直し、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月は再び悪化した。その後、12月以降6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで回復をみせた。しかし、6月以降は一転して下落が続き、11月は下落の速度がやや早まった。12月以降はやや持ち直し、底堅く推移していたが、2016年3月、直近5月も下落をみせた。

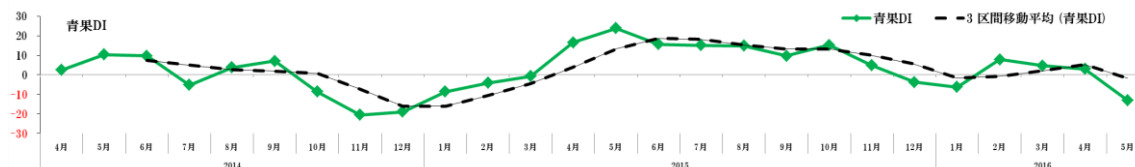
4月に12ヵ月移動平均が、2015年2月以来13ヵ月ぶりにマイナスを記録したが、他の平均線もすべてマイナス推移を続けており、引き続き弱含みな状況が続いている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：-13.1（不調）

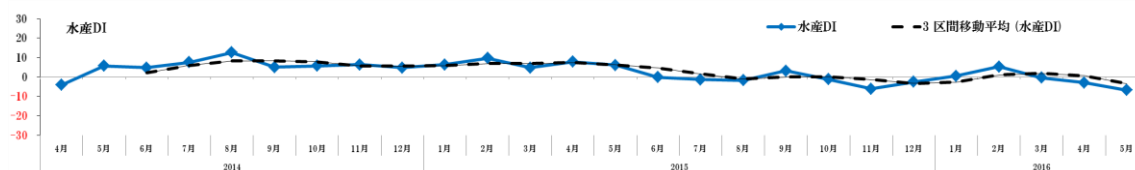
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	4.0	23.6	34.7	31.7	6.0	3.0
青果（当月）	10.3	45.1	33.1	9.7	1.7	-13.1



青果相場は下降傾向が続いており、前年相場が高騰していた反動も加わり、単価が大きく下落したため不調となりました。一方で果物は高値を維持しており、国産果物が品薄となっているもの、輸入果実（キウイ・オレンジ・バナナ）が好調とのコメントが多くみられました。

2. 水産DI：-6.9（やや不調）

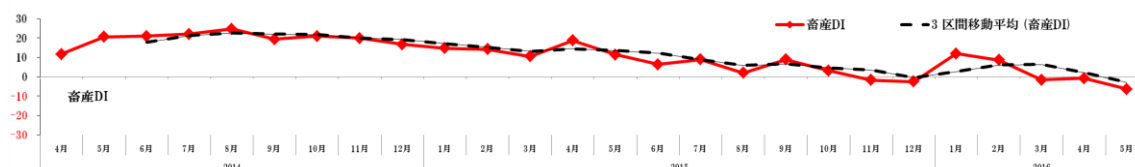
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	7.5	28.6	37.2	21.6	5.0	-3.0
水産（当月）	6.9	40.6	30.9	16.6	5.1	-6.9



月を通じて生魚の入荷不足や相場高が続いており、やや不調となりました。なかでも旬のカツオは水揚げの遅れなどや不漁、イカも品薄で不振とするコメントが多くみられました。GW 期間は好調に推移していた刺身類も中旬以降は不振となっています。週末の品揃えやタイムセール実施などの取組みが成果をあげている店舗もみられました。

3. 畜産DI：-6.4（やや不調）

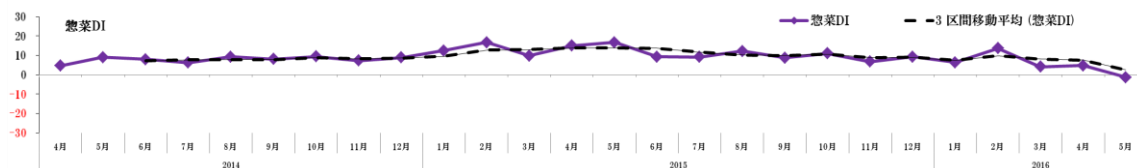
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	2.6	31.1	36.2	27.0	3.1	-0.8
畜産（当月）	6.9	33.1	41.7	15.4	2.9	-6.4



国産牛相場の高騰が続いているため、GW 期間は焼肉やバーベキュー用商材が好調となったものの、月を通じては伸び悩みをみせています。輸入牛・豚や鶏肉は好調とのコメントが多くみられました。一方で、前年よりすべてのカテゴリーで不調だったとする店舗もみられました。

4. 惣菜DI：-1.3（やや不調）

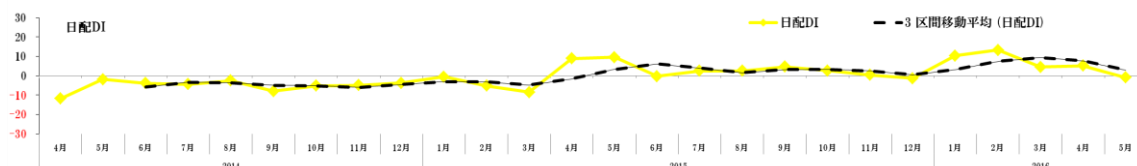
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	3.1	18.5	43.1	27.2	8.2	4.7
惣菜（当月）	5.8	26.6	39.3	23.7	4.6	-1.3



GW 期間中は比較的好調となりましたが、気温の上昇とともに涼味惣菜が好調、揚物などが不調となりました。客数の減少が大きく響いたとのコメントが多くみられています。売場の拡大や催事などの強化が成果をあげている店舗もみられる一方で、人手不足で対応しきれなかった店舗もあるようです。

5. 日配DI：-1.0（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	1.5	18.6	41.7	34.2	4.0	5.2
日配（当月）	3.4	27.6	40.8	25.9	2.3	-1.0



熊本地震により、納豆やパンなどで商品供給に影響が続いています。前年も高温であった影響で、涼味関連商材（アイスやデザート、麺）などは伸び悩みをみせました。引き続き、機能性ヨーグルトや乳酸菌飲料が好調となっています。メディアで取り上げられた梅干しに特需が発生している店舗もみられました。ドラッグストアやディスカウントストアなどとの競合による価格競争の厳しいとの指摘もあります。

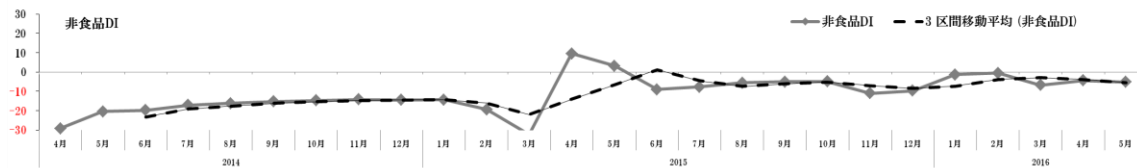
6. 一般食品：-3.7（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	3.0	21.0	40.0	30.0	6.0	3.8
一般食品（当月）	5.2	28.2	44.3	21.3	1.1	-3.7

GW 期間中はビールを中心とした酒類が総じて好調となりましたが、その後も好調とする店舗と前年からの反動で伸び悩みをみせる店舗にわかれています。メディアで取り上げられた小豆・食酢に特需が発生している店舗もみられました。前年低迷していた反動で菓子や米類も好調に推移しています。ドラッグストアやディスカウントストアなどとの競合による価格競争の厳しいとの指摘もあります。

7. 非食品 DI：-5.3（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	7.2	30.4	39.7	18.0	4.6	-4.4
非食品（当月）	8.2	32.7	36.3	17.5	5.3	-5.3



殺虫剤などの季節商材の一部に動きがよくなっているものが見られますが、ドラッグストアなど他業態との競合で厳しい状況にあります。値上げされたタバコが不調となっています。一部には売場の縮小やリニューアルを実施している店舗もみられました。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～20 好調：20～10 やや好調：10～0
 やや不調：0～-10 不調：-10～-20 かなり不調：-20～

2016年6月調査（5月実績）キーワードTOP3

1. 青果相場安・牛肉相場高
2. ゴールデンウィーク後の客数減
3. 土曜日が一日少ない

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

5月実績速報版 183社
 4月実績確報版 210社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp